

地域継続計画 DCP (District Continuity Plan)

医療業務地区 DCP 施設連携構想】

東京都災害医療協議会の設営する2次医療圏として最も負傷者の集中が予想される23区西部（新宿・中野・杉並）の西端に設置することを目指す災害医療拠点

シンポジウム 街として考える災害時の医療-自助・共助の地域医療-

2013年5月1日(水)

主催：一般財団法人都市防災研究所

DCP 医療拠点設立推進検討委員会

後援：内閣府（防災担当）・構成労働省・杉並区

協力：社団法人杉並区医師会・東京駅周辺防災隣組

会場：杉並公会堂 小ホール

<主旨>

被災し負傷した市民が必要とするもの、まず、第一に挙げるべきは、治療方法を判断し、関係者に自分の状況を知らせるための通信機能である。第二番目は、そういった通信機能や、臨時の治療を可能とするためのエネルギーとしての電気である。第三番目は、短期生活を支える装備としてトイレである。こういった機能を実現する手段はDCP（District Continuity Plan）を実践する地区によってマチマチに異なってくるが、これら移動中の市民の都合を優先して担保することが、従来に増して必要な時代になったといえる。

本検討委員会は今年度、帰宅移動する市民の導線の拠点として区中央部（千代田、中央、港、文京）と区西部（新宿、中野、杉並）いう二つの二次保健医療圏をモデルにDCPの提言（昼間区民向け医療救護所連携構想）を行い、地区管理の責任論を軸とした具体論に姿を変えて変容するDCPの柔軟なあり方を提示した。

<プログラム>

「荻窪病院の役割と取り組み」

荻窪病院院長 村井信二

「災害時医療の自助・共助について」

東京医科大学救急医学講座教授 太田祥一

「新宿で考える医療拠点施設」

新宿駅周辺防災協議会（日本赤十字社東京都支部） 田中真人

「東京駅の取り組み」

一般財団法人都市防災研究所 守茂昭

「災害時対応における行政管理責任の仕組み」

丸の内総合法律事務所弁護士 中野明安



パネルディスカッション

「荻窪で考えてみる医療連携～過剰に発生した負傷者向け医療救護所構想～」

司会：東京医科大学救急医学講座教授 太田祥一

パネリスト：

荻窪病院副院長 石井康宏

前杉並保健所地域保健課長 大澤章彦

前新宿区危機管理課長 平井光雄

一般財団法人都市防災研究所 守茂昭

*フロアーより

杉並区医師会・地元学校関係者

明治大学 中林一樹教授・その他質問者

シンポジウム街として考える災害時の医療-自助・共助の地域医療-医療と生活の連携について
(荻窪の成果発表)

2015年1月27日(火) 18:30-21:00

主催：一般財団法人都市防災研究所 DCP 医療拠点設立推進検討委員会

後援：内閣府（防災担当）・厚生労働省・東京都・新宿区・杉並区・中野区・中野区医師会

協力：東京駅周辺防災隣組

会場：中野サンプラザ クレセントルーム



<主旨>

東日本大震災の発災以降、拠点業務市街地のエリア防災について、官民から高い期待が寄せられている。長距離通勤の時代、都市インフラの配置は市民の激しい移動に応じて配備することは困難であり、人口分布と都市インフラの整備密度は一致しにくいものになっている。この状態で、自然災害に遭遇した場合、助かったとしても、十分な社会サービスから溢れた人が多数出る。さらに負傷まで負った場合、馴染みのない場所に滞留した市民に対して地域はどんなケアが可能であるか、この問いの答えとして期待されるのが、DCP（District Continuity Plan）による機能継続である。

被災し負傷した市民とその臨時の対応にあたる医療関係者が必要とするもの、まず、第一に挙げるべきは、関係者に自分の状況を知らせるための通信機能である。第二番目は、そういった通信機能や、臨時の治療を可能とするためのエネルギー源としての電気、第三番目は、短期生活を支える装備としてトイレである。

こういった機能を実現する手段はDCPを実践する地区によって異なって来るが、これら移動中の市民の都合を優先して担保することが、従来に増して必要な時代になったといえる。

数年来、DCP医療拠点設立推進検討委員会は、帰宅移動する市民の導線の拠点として区西部（新宿、中野、杉並）という二次保健医療圏をモデルに医療DCPの提言（昼間区民向け医療救護所の構築提案）を行い、地区管理の一形態としてDCPの柔軟なあり方を提示してきた。さらにこの夏、杉並区の災害拠点病院である荻窪病院が直近の中大杉並高等学校と災害時の協力協定の締結に漕ぎ着け、地域の新しい災害医療に新たな足跡を刻んだことを受け、広く関係の皆様はその意義の問いかけをさせていただきたい。

「二次医療圏における市民と医療の連携の可能性」

東京医科大学救急・災害医学分野 兼任教授/医療法人親樹会恵泉クリニック 理事長・院長 太田祥一

「荻窪病院と中大杉並高等学校の協定について」

荻窪病院院長 村井信二

「東京都の災害医療体制について」

東京都福祉保健局救急災害医療課長 宮野収

「中野駅に寄せる期待と展望」

一般財団法人 都市防災研究所 守茂昭

パネルディスカッション「区西部２次医療圏で考えてみる医療連携」

司会: 東京医科大学救急・災害医学分野 兼任教授/医療法人親樹会恵泉クリニック 理事長・院長 太田祥一

パネリスト:

荻窪病院副院長 石井康宏

東京都福祉保健局救急災害医療課長 宮野収

丸の内総合法律事務所弁護士 中野明安

一般財団法人 都市防災研究所 守茂昭